

# 連携型中高一貫 始動へ

## 新温泉の3校、協定締結

兵庫県と新温泉町の両教  
育委員会は6日、新年度か  
なる新温泉町の浜坂高、浜



新温泉町の中高3校の連携協定を結んだ県と新温泉町の教育長ら＝6日、神戸市の東灘庁舎（兵庫県教委提供）

坂中、夢が丘中の設置主体として、県教委事務局がある仮設の東灘庁舎（神戸市）で連携協定を締結した。3校の学校長や教育関係者が、さらなる交流活発化や継続した学びの深化、学校の魅力化に向けて意気込みを新たに示した。

「連携型中高一貫教育校」は、設置主体が異なる学校同士が連携し、スムーズな接続や継続的学習を推進する。県内では、千種中と千種高▽青垣中と氷上中、氷上西高―に続き3例目。カリキュラムを一本化し同じ学校となる「完全型中高一貫校」とは異なる。

町内の3校は新年度から、中高の6年間を通して連携した授業や進路指導、部活動と行事の交流などに取り組む。具体的には、台湾やニュージーランドなどとの国際交流、各校の文化祭、体育大会、地域貢献事業などの相互参加を想定。教員同士で連携した担当者会議や研修会も見込む。

本年度実施の入試から新枠が誕生している。連携する夢が丘、浜坂両中学校の生徒が受験できる「連携型入試枠」を設定。試験内容は3教科と面接で、今年2月に39人が合格した。3月の一般入試には、これまで通り連携中学以外の生徒も受験ができる。

式では、藤原俊平県教育長と森田篤志町教育長が協定書にサインした。浜坂高の西岡優子校長、浜坂中の

田中千尋校長、夢が丘中の原教育長は「学びや成長の場を充実させ、ぜひ多くの生徒に入学してもらおう但馬地域のモデルとなっていきたい」と話した。（松本妙子）